恋文（1953）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 98分
初公開日 1953/12/13
公開情報 新東宝

【解説】
田中絹代の第一回監督作品。丹羽文雄の同名小説を木下恵介が脚色した。成瀬巳喜男が脚本に手を入れ、笠智衆や入江たか子などそうそうたるメンバーがカメオ出演を果たしている。年老いた洋妾役で田中絹代本人も出演。
戦争から帰還したエリート軍人の真弓礼吉は、弟の洋のアパートに身を寄せながら、山路の仕事を手伝っていた。山路は兵学校時代の友人で、洋妾(外人相手の娼婦)から米兵へのラブレターの代筆を生業としていた。ある日、山路の店へ道子がやってくる。彼女は戦前、礼吉と付き合っていた恋人で、他の男と結婚したはずだった。どうして自分を捨てて他の男と結婚したのか、どうして米兵相手の洋妾になったのか。変わり果てた道子に激怒し、礼吉は酒におぼれるようになってしまう。

【クレジット】
監督 田中絹代
製作 永島一朗
原作 丹羽文雄 「恋文」
脚本 木下恵介
撮影 鈴木博
美術 進藤誠吾
音楽 斎藤一郎
出演 森雅之 真弓礼吉
加島春美 礼吉の少年時代
夏川静江 母
宇野重吉 山路直人
久我美子 久保田道子
香川京子 保子
田中絹代 下宿のおばさん
関千恵子 事務員風の女
中北千枝子 レストランの女
花井蘭子 とんかつ屋の主人
木下恵介 写真屋
道三重三 洋

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.